

2018年04月21日

第2回 ACP ファシリテーター養成研修

【修了者】

大府東浦付近

1) 溪村 大輔

知多小嶋地域連携室長 看護師

2) 前田 友也

知多小嶋地域連携 言語聴覚士

3) 伊藤 牧

東海セイムス大府半月 薬剤師

4) 北村つかさ

あい愛おおぶ・介護支援専門員/歯科衛生士

5) 長谷場 恵美子

レモン介護サービス 看護師

6) 萱野 佐知子

大府市高齢者相談支援センター 看護師

7) 佐々木 由紀

大府市高齢者相談支援センター 主任介護支援専門員

8) 小関 小百合

大府市高齢者相談支援センター 社会福祉士

名古屋

9) 大浦 純子

名古屋市医師会 看護師/社会福祉士

豊橋

10) 中野 公平

つむぎコーポレーション 施設長

県外

11) 中西 佳美

天本病院（東京）看護師

12) 石川 祥子

天本病院（東京）看護師

13) 高澤 正三

ふるさと病院 老人保健施設（富山）介護支援専門員/社会福祉士

14) 中神 太志

大阪大学老年内科（大阪）医師

【ファシリテーター】

1) 樋 康利

通所介護事業所レモンの樹大府 介護職員

2) 松本 真希

大府市役所高齢障がい支援課 在宅医療・介護連携推進員

3) 大城 京子

居宅介護事業支援所レモンの樹大府 介護支援専門員

4) 勝木 大輔

通所介護事業所レモンの樹大府 生活相談員

5) 山本 明子

福祉 日和 介護支援専門員

6) 小林 真矢

訪問看護ステーション グラシア 看護師

7) 西川 満則

国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部 医師

【参加者意見】

- ・患者さんや利用者さんの、多様な生活背景の中で、ACP が必要とされる状況を理解することができた。
- ・何よりも、傾聴する姿勢の重要性を感じた。
- ・今回は、2 回目の参加だったが、1 回目、と変わって、何回か参加して、また違う見方ができるのではと思うと楽しみが増えた。
- ・聴く事、思いの引き出しを開けてあげる事、選択した結果は、間違いではないと、安心して頂く言葉がけをする事など、が重要だとわかった。
- ・相手とのコミュニケーションの取り方の難しさも感じた。一方で、コミュニケーションの最後は、マイナスイメージからの転換をするなど、新たなコミュニケーションの視点を経験することができた。
- ・相手を思う気持ちを大切にして、これまで、当たり前だった事を覆すような思いを形にして行こうと思う。
- ・時間はかかると思うが、同じ気持ちを持つスタッフを増やしていける様に、取り組みたい。
- ・次回も参加し、自分の変化を感じてみたい。